

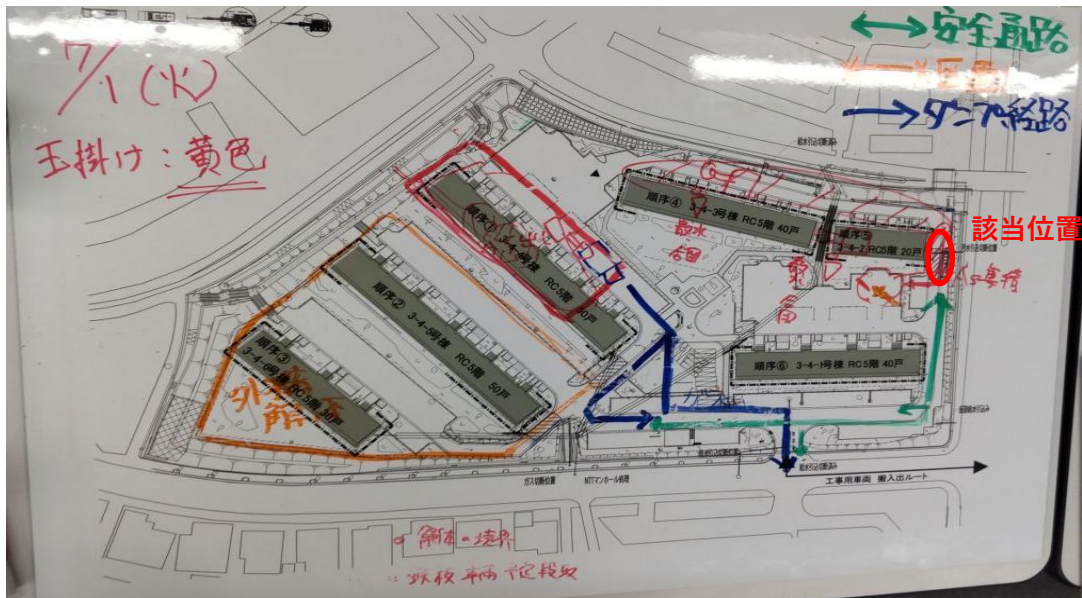
事故報告書（概要書）

第 2 報

2025 年 7 月 1 日

工事番号	2430200				報 告 者		菅 直哉			
部門・部署	建築本部		第一工事部		現場責任者名		菅 直哉			
現場名称	(仮称)成田ニュータウン橋賀台計画に伴う解体工事									
被害者情報	氏 名			年 齢		生年月日				
	氏			56 歳		年 月 日				
現住所				職種	土工		連絡先			
勤務先 (所属会社)	会社名	㈱第一元商			所在地					
	TEL				雇入年月日	満 年	年	月	日	
契約関係	(一次) 丸徳興業㈱ →(二次) 協和企業㈱ →(三次) ㈱第一元商									
災害発生年月日時	2025 年 7 月 1 日 9 時 55 分 頃									
傷害名	熱中症				傷害・部位					
病院名	成田徳洲会病院				治療・休業・日数		休業日数	0	治療日数 1	
災害発生の事実確認者	氏名 西本 英樹				所属 会社		丸徳興業㈱			
災害発生の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)									
	日にち	時間軸	報告内容							
	1 日	8 : 0	朝礼 ※当社現場担当は社内辞令の為不在、丸徳興業㈱現場代理人西本氏が							
		:	代理で行う。新規入場者であった為、新規入場者記録を記入、西本氏が説明。							
		8 : 25	作業開始。当事者はアスファルト撤去相番のガラ拾いを行っていた。							
		9 : 55	当事者がバツタリと倒れた為、周囲作業者が声を掛ける。意識はあり。							
		:	西本氏が駆けつけ、体に水を掛け、OS1を飲ませる。							
		10 : 1	熱中症処置フローにより救急車へ連絡。							
		10 : 3	現場代理人 菅へ電話報告。							
		10 : 5	救急車が現場に到着。当事者に意識があった為、聞き取り後成田徳洲会病院へ搬送。							
		:	同時刻、菅から鎌田部長へ電話報告。							
		10 : 55	菅が現場到着。聞き取りを行う。当事者に意識があった為、救急隊員から同乗者は							
		:	付けずに帰りのこともあるので車で迎えに来るよう指示を受けていた為、丸徳工業㈱							
		:	目黒氏、㈱第一元商代理人を病院へ向かわせた。							
		13 : 30	病院から帰宅してよいと言われ、現場事務所で簡単な聞き取りを行い、所属会社より							
		:	翌日の出勤状況、夜間時の急変が無いか電話で確認を行い、翌日報告する様に							
		:	伝える。当事者本人は顔色も戻り回答も問題なかった。明日は問題なければ仕事も							
		:	可能と医師から回答あり。							
		:	所属会社より聞き取りしたところ、土工としての経歴は15年ほどあるが、会社に入社							
		:	したのが昨日の6月30日であり、当人は高血圧と糖尿病を患っていた。(服薬中)							
	※特筆すべき事項を記載してください。									
	新規入場者が初日作業で倒れた。特に朝の時点では異常は見られなかった様だが、当社社員が									
	対面して新規教育を行えていなかった。									
	処 置 (連 絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容								
		施主・顧客		報告なし						
設計、監理者		該当なし								
所轄労基署		不休災害の為報告の必要なし								
社 内		鎌田部長へ報告。第1報を11:30に建築本部へメール。								
労災成立番号										

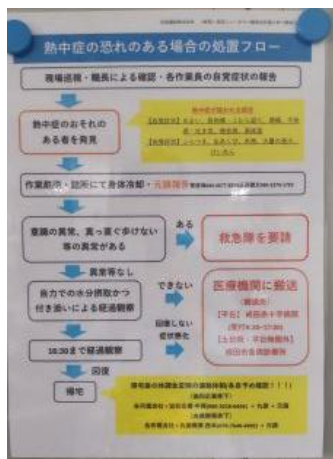
※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。
(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)



7/1 作業状況図



※めくったアスファルトやガラを集積していた際、熱で気が遠くなり前のめりに倒れた。



※現場に掲示している処置フロー

※当日の熱中症予防シート記入状況

原因	作業前はWBGT値が27.4℃であったが、現場到着時のWBGT値は29.6℃と急に危険値に
	上がっており休憩直前に倒れてしまった。
再発防止対策	新規入場者は当社社員が新規教育及び面談前は作業させない。